

第1回 西宮浜小・中一貫校庁内開校準備委員会にかかる議事録

日 時：平成30年8月27日（月） 9時00分～10時00分

場 所：東館8階 教育委員会分室

出席者：大和教育次長（委員長）、津田学校改革部長（副委員長）、佐々木学校教育部長（副委員長）、
薩美課長（教育総務課）、澤田課長（教育人事課）、北井課長（教育職員課）、
岩本課長（校務改善課）、山下課長（学校管理課）、柏木課長（学校施設計画課）、
竹村課長（学事課）、木戸課長（学校教育課）、飯干課長（学校保健安全課）、
栗屋課長（特別支援教育課）、乾課長（教育研修課）、中島課長（社会教育課）、
牧山課長（青少年育成課）

事務局：奥谷課長（学校改革推進課）、谷口課長（学校改革調整課）、小濱係長（学校改革推進課）、
村松係長（学校改革調整課）、足立嘱託職員（学校改革調整課）、岡本嘱託職員（学校教育課）、
宮崎嘱託職員（学校教育課）

司 会：佐々木副委員長

委員長	1. 開会のあいさつ
事務局	配付資料の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・西宮浜小中一貫校庁内開校準備委員会設置要綱 ・西宮浜週中一貫校設置準備委員会」について ・平成30年度西宮浜小中一貫校設置準備委員会 委員名簿 ・平成30年度第1回西宮浜小中一貫校設置準備委員会 まとめ ・平成30年度第2回西宮浜小中一貫校設置準備委員会 次第 ・各課スケジュール概要表 ・各課進捗管理チェックリスト
	2. メンバー紹介
	3. 開校準備委員会設置要項について
事務局	・配付資料「西宮浜小中一貫校庁内開校準備委員会設置要綱」にて確認。
	4. 協議事項 (1) 西宮浜小中一貫校のビジョンについて
事務局	① 期待する効果 <ul style="list-style-type: none"> ・学校適正規模の維持 ・小中一貫教育推進のモデル ・市内でいち早く取り組んできたものをさらに発展させる。 ・総合教育センター付属校としての研究研修拠点 ・地域とともにある学校のモデル → コミュニティ・スクールの導入 ・地域の再活性化 ② 小中一貫校の学校制度 A: 併設型小中学校…2つの学校、2人の校長、2つの教職員組織 B: 義務教育学校……1つの学校、1人の校長、1つの教職員組織 ③ 西宮浜小中学校がめざす一貫教育 ④ 義務教育学校の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・自由度が高く、より可能性がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校を選択したいと考えている。 ・課題、必要となること <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒への細やかな対応 ○ 施設整備 ○ 通学区域 ○ 小中学校の両免許 ○ 教職員 ○ 転出入 ○ 校名、校章、校歌、6年生の卒業式 ○ 小・中学校の廃校に伴う条例改正 ・教職員配置 1～9年生。1,2年生、3,4年生、5,6,7年生、8,9年生の学団 ・施設の利用 <ul style="list-style-type: none"> 小学校に1～4年生 中学校に5～9年生 ※ 総合教育センター施設を分室として小学校舎へ。 ・時間割 <ul style="list-style-type: none"> 3年生から一部教科担任制を導入 ・特色（イメージ、魅力） <ul style="list-style-type: none"> 学校 学 習 じぶん、ふるさと、せかい 英語・外国語・英語検定、プログラミング学習 ※ 専任指導主事の常駐 組 織 4.3.2制 小中一貫教育に理解のある先生 段階的教科担任制 スポーツ カヌー 西宮浜独自のもの 地域 情報センター 貝類館 産業団地 【進路】 国際学科 数理学科 海洋系学科 体育系学科 幅広い選択 キャリア教育
委員長	・本庁の関係課の関わりはいつ頃、どのような形になるのか
事務局	・例えば、小中間の道路の件であれば、今後土木局との連携が必要となる。
委員長	・議論する時にこの会に出席してもらおうということか。
副委員長 (学改部)	・いずれ健康福祉局、産業文化局も入ってくることになるだろう。
	(2) 各課所掌事務内容について
事務局	・設置要綱の別表には各課の所掌事務について示している。他課の事務との連携や調整の際に参考としていただきたい。現時点では教育委員会内の課を対象としているが、今後本庁の課にも加わっていただくことになる。
	(3) その他（共通確認事項等）について
事務局	・一貫校の開設に向けて、今回の会に先駆けて「西宮浜小中一貫校設置準備委員会」をスタートしている。今後、本会（庁内開校準備委員会）とも密接に連携し、開校に向けて両輪となり進んでいくことになる。
事務局	・第1回・第2回の「西宮浜小中一貫校設置準備委員会」について説明

	<p>「西宮浜週中一貫校設置準備委員会について」</p> <p>「平成 30 年度西宮浜小中一貫校設置準備委員会 委員名簿」</p> <p>「平成 30 年度第 1 回西宮浜小中一貫校設置準備委員会 まとめ」</p> <p>「平成 30 年度第 2 回西宮浜小中一貫校設置準備委員会 次第」</p> <p>・今後、設置準備委員会での審議が必要な内容が出てきた場合、事務局に事前に連絡がほしい。</p>
	<p>5. 依頼事項</p> <p>(1) 各課スケジュール概要表の記入について</p> <p>(2) 各課進捗管理チェックリストの作成について</p>
事務局	・資料により説明。
	質問・意見
教総課	・開校の平成 32 年 4 月以降にやることはないのか。各課スケジュール概要表は平成 31 年度までしかないが開校後の概要表もほしい。平成 32 年 4 月 1 日に開校式を行うと、おそらく誰も出席できなくなってしまうだろう。さらに、予算は多めに積んでおく必要がある。今年度は大まかに予算をあげておいて、平成 31 年度に詳細をあげていく方がよいだろう。開校後で間に合うものは開校後にするという判断がある。平成 32 年度から実施しようと思うと、今年度の実施計画にあげる必要がある。給食についても、1~4 年生、5~9 年生となると、給食室の改築が必要だが難しい。
副委員長 (学改部)	・部屋の改築は予算にあげているが、給食室のことは視察の中でもいろいろ聞いている。どう運用するか考えていきたい。
学教課	・平成 32 年度に入ってからスケジュールも必要である。
学施設課	・所掌事務の表の学校施設計画課の備考欄の 3 つは必要ない。
校改課	・施設利用についてはどうなるのか。
事務局	・まだ案の段階である。
副委員長	6. 閉会のあいさつ